

2025 年度 事業報告書

1 事業実施の概略

りたは、市民及び市民団体、企業が行う社会貢献活動を促進し、市民・企業・行政が相互に参加や協力するまち育てを支援することで、岡崎市の協働型社会づくりを促進することを目的として掲げている。

そして、その目的を実現するため、りたは、市民自治の観点から地域自治と多様な市民活動を支援し、地域社会での連携・協働の推進に積極的な役割を果たすことや、社会の幸福をめざし市民・企業・行政が連携・協働のもとにそれぞれの役割と責任を担う「新しい公共」の理念を社会に浸透させ、「持続可能な社会」につながるまち育てを進めていくことを使命としている。

2025 年度にりたが取り組んだ主な事業は、以下のとおりである。

- ・市民協働まちづくりを推進するための拠点施設を運営する地域交流センター（5 館）指定管理事業と
りぶら市民活動センター運営事業
- ・地域の担い手不足などの喫緊の課題を地域で解決していくことを支援する恵田学区地区別計画策定
業務、地域包括ケアシステム支援業務、下山地域運営組織設立支援事業
- ・岡崎市が公民連携による公共空間の利活用を進める公園愛護運営会等設立支援業務
- ・これまで培ってきた市民協働のノウハウを活かし、県内各地域でのまちづくり推進や地域課題の解
決を支援するまち育ての専門家派遣事業

以下、本年度に掲げた注力すべき 3 つの主要テーマに沿って、主な成果を記す。

テーマ1 地域活力を高める

市民活動および地域活動の拠点施設（地域交流センター）の管理運営を通じて、市民自治・地域自治の礎となる地域の担い手を掘り起こし、市民活動団体による公益活動の場づくり、中学生・高校生・大学生の社会参加の場づくり、市民活動や地域活動へのボランティアマッチング（まちびとバンク）を推進した。

日常的な窓口業務や情報の受発信、事業実施により蓄積されたネットワークを活かし、地域の課題解決や地域資源を活用する担い手を掘り起こし、市民協働型社会の実現に向けた活動を行った。

また、地域交流センターにおける市民活動団体や地縁組織を対象とした学習機会および交流機会の提供、岡崎市総代会連絡協議会や岡崎市・愛知県職員向けの協働研修、「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会（JVCC）」を始めとした自治体諮問機関（委員会等）や各種勉強会等への専門家派遣等を通じて、協働型社会について啓発すると共に、社会関係資本の醸成に寄与した。

【該当事業】地域交流センター指定管理、まちびとバンク、協働研修ほか

テーマ2 地域資源を活かす

公園、鉄道駅などの公共空間、路地や空き家などの準公共空間、そしてそうした場所を積極的に活用する市民、団体、事業者を地域の資源としてとらえ、公共空間のより豊かな使われ方を見出し、その場所ならではの価値として意味付け、それらを具現化し、持続させるための活動と結びつけ、地域の魅力向上に貢献した。

一般的に「地域課題」として捉えられる空き家や狭あい道路は、解体・売却や区画整理等によって解

消することが是とされるが、権利関係が錯綜したり、適用できる公的な施策が限定的だったりして、結果的に放置されてしまうことも少なくない。路地街区再生プロジェクト（西梅園地区）では、狭あい道路に面した空き家を地域課題解決に活用することで、「課題」を「資源」に変換して、高齢者の生活支援や防災など複合的な地域課題解決に活用している。

【該当事業】路地街区再生プロジェクト（西梅園地区）、公園愛護運営会設立等支援業務、「三郷駅前周辺まちづくりデザイン意思決定支援業務」に関するコンサルティングほか

テーマ3 地域課題を解決する

少子高齢化、空き家の増加、防災、子育て支援など、山積する地域課題に対して、地域包括支援センター、岡崎市社会福祉協議会、学区福祉委員会など既存の担い手との連携や、社会貢献意欲のある個人や団体、ボランティアなどの担い手の発掘およびマッチングを通じて、地域の課題解決を支援した。

例えば岡崎市の中山間地域では、人口減少、少子高齢化の進行により、小学校の適正配置の検討対象となる可能性があり、小学校が統廃合されると、地域コミュニティの弱体化や人口減少に拍車がかかるなど、課題がより深刻になることが危惧されている。そんな地域の一つ、恵田学区では、下山学区などでの実績を基に、①地域リサーチ（人口動態調査、キーマンヒアリング、フィールドワーク）、②全住民アンケート、③井戸端会議（住民ワークショップ）を通じて、地域課題の抽出、潜在的資源の把握、地域主体の活動・体制づくりを支援した。

【該当事業】恵田学区地区別計画策定支援業務、地域包括ケアシステム支援事業、路地街区再生プロジェクト（西梅園地区）、中山間地関係人口創出プロジェクト（下山学区）、市民活動支援ほか

各事業の詳細は次頁より記す。

2 事業の実施に関する事項

(2025 年度 実施事業一覧)

定款項目	事業名
ア まち育てに関する相談や助言事業	アー 1 りぶら市民活動センター運営事業
イ まち育てに関する学習機会の提供事業	イー 1 まち育てインターン受入事業 (2025 年度実施なし)
ウ まち育てに関する情報収集と発信事業	(該当事業なし)
エ まち育ての専門家の育成と派遣事業	エー 1 まち育てコーディネーター養成事業 エー 2 まち育ての専門家派遣事業
オ まち育てに関する調査研究、政策提言事業	オー 1 地域包括ケアシステム支援業務 オー 2 路地街区再生プロジェクト (西梅園地区)
カ 市民と企業と行政をつなぐまち育て支援事業	カー 1 公園愛護運営会設立支援等業務 カー 2 中山間地関係人口創出プロジェクト (下山学区) カー 3 恵田学区地区別計画策定支援業務 カー 4 安城地区公園再整備基本構想策定ワークショップ カー 5 「三郷駅前周辺まちづくりデザイン意思決定支援業務」に関するコンサルティング カー 6 愛・地球博記念公園マネジメント会議運営補助業務
キ まち育てを支援する拠点施設の管理運営事業	キー 1,2,3,4,5 岡崎市地域交流センター (北部・南部・西部・東部・六ツ美分館) 指定管理事業

ア まち育てに関する相談や助言事業

アー1 りぶら市民活動センター運営事業

(ア) 事業内容

りぶら市民活動センターは、「協働する意欲のある市民の参画意識の醸成と市民活動全般の活性化を支援する」ことを目的とした岡崎市受託事業である。業務内容としては、①市民活動に関する情報の収集及び提供、②相談対応、③ボランティアマッチング、④公益活動の促進や情報発信に関する事業、⑤市民活動団体登録に伴う事務、⑥市民活動団体に関するホームページやメールマガジンの運営、⑦地域交流センターとのネットワーク形成である。

(イ) 実施時期 2025 年 4 月～2026 年 3 月 開館日の 9:00～21:00

(ウ) 実施場所 岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 2 階市民活動総合支援センター内

(エ) 従事者 鈴木千 (センター長)、高木、宮地、鈴木香、山崎 / 岡田 (サポート)

(オ) 受託事業 10,700,663 円 (岡崎市からの事業受託費より繰り入れ 担当課：市民協働推進課)

(カ) 成果

今年度の特筆すべき成果としては、上記④⑦として実施した (i) 地域交流センター事業へのスタッフ派遣・ブース出展、(ii) 公益ナビ巡回展が挙げられる。

(i) 地域交流センターと市民活動センターのネットワークを活かし、スタッフ派遣及びブース出展を行った。「おかざき市民活動情報ひろば活用講座(南)」には、操作に精通しているスタッフを派遣した。また、地域交流センター事業(南、東、六)において市民活動センターのブースを出展し、ボランティア制度や窓口相談機能を広く市民に周知した。市民活動センターの取組をPRするとともに、地域交流センター事業との相乗効果により、まちびとバンクやまちびとステージ、もののものバンクのマッチングにつながった。

(ii) 『おかざき公益ナビ』に掲載されている市内の公益活動事例(23件)をパネル化し、地域交流センター及び図書館交流プラザりぶらにて、巡回展示を行った。会場ではシールアンケートとメッセージノートを設置し、市民からの意見や感想を募った。寄せられた意見や感想は後日レポートとしてまとめ、23団体へ届けた。本巡回展を通して、公益活動への理解や関心が深まり、事業への参加や新たな活動を始める市民の増加が期待される。

その他、主な事業の実施結果については、次の図表に示す。

業務名／事業名	内 容	時 期	参加者
①市民活動情報の収集及び提供	・ポスター・チラシの受付、掲示・配架 ・活動コーナーにモニターを設置し、市民活動に有益な情報を提供	通 年	チラシ等の受付：746 件
②市民活動相談	市民活動に関する相談対応を行った。	通 年	相談件数：121 件
③まちびとバンク	ボランティアをしたい市民とボランティアを必要としている団体のマッチングを行いボランティア活動の促進に努めた。	通 年	新規登録：1 名 依頼： 73 件（地交分） 42 件（市活分） マッチング： 4725 件（地交分） 577 件（市活分）
まちびとステージ	自分の経験・特技を活かせる場所を積極的に探している個人・団体に対して、活躍場所のマッチングを行った。	通 年	依頼： 37 件（地交分） 13 件（市活分） マッチング： 124 件（地交分） 16 件（市活分）
もののものバンク	不用品を提供いただき、必要としている団体にマッチングすることで団体が抱える「モノ」不足を解消することに努めた。また、モノの有効利用にもつながった。	通 年	<譲ります> 受入:20 品、成立:34 件 <レンタル用物品> 受入:0 品、成立:21 件 <探しています> 受入:1 件、成立:5 件
④公益活動促進	・「学校連携（岡崎商業高校）」 市民活動団体 PR 動画作成の受付窓口となった。 ・地域交流センター事業へのスタッフ派遣、ブース出展 …⑦地域交流センターとのネットワーク形成	通 年	<動画>6 団体 <派遣・出展> 3 回
情報発信	・「情報誌(まちのワ!)発行」 ・事業者（東海愛知新聞社）と連携し、市民活動団体の紹介記事（～2 月まで）及び		<情報誌>6 回 <東海愛知新聞掲載> 団体紹介 96 団体

	ボランティア募集記事（3月）を東海愛知新聞に掲載し、情報発信を行った。 ・公益ナビ巡回展 …⑦地域交流センターとのネットワーク形成		ボランティア募集9件 ＜巡回展＞ 23団体のパネル展示
⑤市民活動団体の登録、変更、廃止受付	市民活動団体登録を目指す団体へのアドバイス、登録申請の受付、既団体の登録変更、廃止の受付を行った。	通 年	新規：7件 変更：69件 廃止：11件 ユーザー追加：8件 ユーザー削除：6件
⑥HP・メルマガ	・市民活動団体向けメールマガジン発行 ・市民活動センターホームページの更新 ・市民活動情報ひろば入力支援	通年	メルマガ：登録団体（312団体）に年6回送付 情報ひろば対応件数：76件※延べ件数

イ まち育てに関する学習機会の提供事業

イー1 まち育てインターン受入事業

（受入れなし）

ウ まち育てに関する情報収集と発信事業

（該当事業なし）

エ まち育ての専門家の育成と派遣事業

エー1 まち育てコーディネーター養成事業

（ア）事業内容

今年度新たに入社したスタッフに対し、岡崎市内の NPO/市民活動の潮流とりたの位置づけや業務の概要等について解説し、中間支援組織の一員として業務に従事できるよう教育を実施した。一方、管理職向けには、定例会議の場を利用してミニ勉強会を開始し、りたの各事業展開や、団体支援ノウハウ、岡崎市内のまちの課題等を共有し、意見交換を行った。

（イ）実施時期

- ・新人研修：2025年12月3日・9日・16日（3日開催、全6コマ）
- ・管理職向け：2025年4月11日他、全8回

（ウ）実施場所 岡崎市地域交流センター（西部、南部、六ツ美）、オンライン

（エ）従事者

- ・新人研修：（講師）三矢、天野、深田、平岩、石田、藤岡
（受講者）加藤和、藤本（北）、三浦（東）、近藤美・二宮※初回のみ（事務局）

・管理職向け：（講師）築瀬、天野、平岩、小早川、近藤美

（受講者）築瀬、中村、天野、深田、平岩、藤岡、加藤智、石田、小早川、阪口、
鈴木紀、鈴木千、岩川、近藤美

（オ）自主事業 0 円 （事業支出は一般管理費より充当）

（カ）成果

- ・新人研修：りた職員に求められる基本的な考え方や基礎的な知識を習得。多岐に渡るりたのまちづくりにおける中間支援の概要に触れることで、職員としての自覚を促した。
- ・管理職向け：事業のプロジェクト担当者（リーダー）等から、事業のポイントや課題分析を直接聞き、意見交換をすることで、まち育てコーディネーターとして地域に関わる意義を改めて認識し、その方法論を学んだ。

なお、上記以外にも、センター長以上のスタッフを主な対象として、外部研修を積極的に活用した。事業企画・施設運営に役立てるとともに、まち育てコーディネーターとしての知見・ネットワークを広め、地域交流センター・市民活動センターの施設役割強化や、まち育て事業における事業運営の向上・新規事業開発につなげることができた。

例として、

- ・愛知県ボランティアコーディネーター養成講座（社会福祉法人愛知県社会福祉協議会）
- ・NPO・ボランティア等連携体制推進研修会～避難生活で求められる市民活動の役割とは～（愛知県/NPO 法人ボランタリーネイバーズ）
- ・みんなで選ぶ「NPO と企業の協働アワード」（愛知県/NPO 法人中部プロボノセンター）
- ・NPO マネジメントスクール～NPO 法人会計・税務～（愛知県）
- ・QURUWA 事業リノベーションスクール（QURUWA 事業リノベーションスクール実行委員会）

エー2 まち育ての専門家派遣事業

（ア）事業内容

岡崎市近郊での講義・ワークショップ実施や岡崎市内の先進事例の紹介、各種委員会や審議会への助言ならびに政策提言を担った。

（イ）実施時期 2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

（ウ）会 場 岡崎市、名古屋市、小牧市、富山市

（エ）従事者 築瀬、天野、深田、平岩、藤岡、小早川他

（オ）受託事業 4,240,170 円（各機関・団体等より受託、一部自主事業）

（カ）成果

- ・これまで市内で実践した各事業の成果等が全国の地域・団体からの評価につながり、様々な派遣依頼につながっている。各派遣先においては、その評価・事業実績を踏まえ、他市町・市内他地区へのノウハウ移転や様々な地域課題に対する複合的な解決策の提示を行うことができた。
- ・前年度に引き続き、複数メンバーで実施する単発ワークショップ運営等の事業受託もあり、それぞれの主催者・参加者のニーズに合わせた課題解決につなげるための場づくりや支援を行うことができた。

〔専門家派遣リスト〕

(天野担当分 3 事業)

- ・富山市商店街連盟「まちなかワークショップ」(8/1)
- ・愛知県「2025 年度採用 2 年目職員研修 (NPO・福祉)」(11/10)
- ・株式会社ノーザンクロス「QURUWA 視察」(2/17)

(複数メンバーで担当 7 事業)

- ・岡崎再生本部ワークショップ (5/20, 8/22, 10/27, 2/5)
従事者：天野、平岩
- ・岡崎市 空き家等流通・活用促進プラットフォーム (6 月～3 月)
従事者：天野、加藤
- ・竹田住宅跡地活用ワークショップ企画運營業務 (6 月～10 月)
従事者：三矢、長谷川
- ・岡崎市 岡崎市市民協働実務担当職員研修業務 (10/9)
従事者：平岩、深田、小早川、阪口、近藤美
- ・ハウジングアンドコミュニティ財団 地域交流会 in 岡崎 開催支援業務(10 月～11 月)
従事者：天野、小早川、岩川、阪口、平岩
- ・岡崎市総代会連絡協議会 総代会長会研修 (1/9)
従事者：深田、平岩、小早川、加藤、石田、阪口、鈴木紀、岩川、近藤美
- ・未来へつむぐ岡崎の水と森の座談会開催補助事業 (10 月～3 月)
従事者：天野、小早川

●委員会等での助言

(築瀬担当分 1 事業)

- ・乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン会議 (7/8)

(天野担当分 6 事業)

- ・岡崎市都市計画マスタープラン策定委員会 (5/9, 7/3, 9/24, 1/23)
- ・岡崎市景観審議会 (8/25, 2/19)
- ・乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン会議 (7/8, 1/27)
- ・乙川リバーフロント地区かわまちづくり協議会 (7/17)
- ・岡崎市景観整備機構連絡協議会 (3/27 書面開催)
- ・愛知県「あいち商店街活性化プラン策定委員会」(8/26, 12/3)

(深田担当分 3 事業)

- ・岡崎市歴史まちづくり協議会 (7/25、10/7、2/16、3/23)
- ・岡崎市文化財保存活用地域計画協議会 (3/4)
- ・岡崎市市民協働推進委員会 (11/7、2/18)

(平岩担当分 4 事業)

- ・岡崎市生涯学習推進委員会 (8/18、2/16)
- ・市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会 (実行委員会 8 回、本番 2/21)
- ・岡崎市観光基本計画推進計委員会 (9/25)
- ・NPO と行政の協働に関する実務者会議 (1/8、2/27)

(藤岡担当分 1 事業)

- ・小牧市市民活動促進委員会 (5/15, 24、7/16、8/2、27、3/27)

(小早川担当分 2 事業)

- ・岡崎市地域福祉計画事業検討部会 (10/3、1/23)
- ・岡崎市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会 (6/18、3/18)

オ まち育てに関する調査研究、政策提言事業

オー1 地域包括ケアシステム支援業務

(ア) 事業内容

多様な担い手による高齢者の日常生活上の支援体制の充実・強化、及び社会参加の推進を一体的に図り、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができる地域包括ケアシステムの構築さらには地域共生社会の実現に向けて、市内 20 の地域包括支援センターの支援（包括職員研修、アイデアソンの企画・運営、広報支援等）を行った。

(イ) 実施時期 2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

(ウ) 実施場所 岡崎市内各地

(エ) 従事者 天野、長谷川、小嶋、三矢

(オ) 受託事業 2,550,000 円（岡崎市からの事業受託費より繰り入れ 担当課：ふくし相談課）

(カ) 成果

2022 年より各地域包括支援センターの重点事業計画書の基本フォーマットとなっているロジックモデルについて、基本的な考え方を習得する講義と、実際に手を動かしながらグループで検討するワークショップからなる職員研修を通じて、包括支援センターの人材育成やチームビルディング、学習・交流機会の創出に寄与した。

またアイデアソンでは、前年度までのアイデアソンで生まれた企業と地域・行政との連携による居場所づくりや福祉的なアプローチによる地域交流事業を紹介し、ワールドカフェ形式で地域包括支援センター職員、福祉業界の従事者に加え、福祉領域に関心のある事業者が連携してどのようなことができるかを意見交換する場づくりを行い、福祉×異業種の協働の土壌づくりに貢献した。

オー2 路地街区再生プロジェクト(西梅園地区)

(ア) 事業内容

接道しておらず再建築ができないため空き家の増加と後継世代の流出が進む西梅園地区で、地域活力の向上と路地街区の再生に向けて、町内会や民間事業者・市民団体等と連携し、地域住民及び地権者を対象として、地域交流を促す茶話会（月1回）の開催、菜園の整備・運営、および空き家の片付け支援、内覧会の実施（3回）を行った。

(イ) 実施時期 2025年4月～2026年3月

(ウ) 実施場所 西梅園地区

(エ) 従事者 天野、小早川、岩川

(オ) 協働先 西梅園町内会、岡崎市中央地域福祉センター、中央地域包括支援センター、岡崎市ふくし相談課、岡崎市住環境整備課、岡崎市まちづくり推進課

(オ) 自主事業 594,704円（りた事業基金より繰り入れ）

(カ) 成果

- ・まちづくり推進課 QURUWA 係が実施する「事業リノベーションスクール」への参加を通じて、拠点施設キノエノ* farm house の整備・運営に関して専門家からのアドバイスや、同スクール参加事業者（スノーピークビジネスソリューションズ、山田農園）の協力を得ることができた。
- ・西梅園町内会、中央地域福祉センター、中央包括支援センター、岡崎市ふくし相談課の協力により、月1回の茶話会を通じて地域住民との関係性構築が円滑に進み、不動産情報が寄せられるようになってきた。
- ・実際に空き家所有者の相談から、空き家の片付けと利用希望者の内覧会を実施し、地域のための活用に向けた動きが生まれた。
- ・岡崎市住環境整備課と連携し、無接道・狭あい道路に面した不動産の活用方法について具体的課題と解決策について検討することができた。

カ 市民と企業と行政をつなぐまち育て支援事業

カー1 公園愛護運営会設立支援等業務

(ア) 事業内容

既存の公園愛護運営会の運営上の課題やノウハウについて意見交換・交流を図る「情報交換会」および矢作公園の愛護運営会設立に向けた地元調整、既存の「公園愛護運営会」の活動状況を把握するアウトリーチを行った。

(イ) 実施時期 2025年5月～2026年3月

(ウ) 実施場所 岡崎市内

(エ) 従事者 天野、小早川、斉藤

(オ) 受託事業 2,200,000円（岡崎市からの事業受託費より繰り入れ 担当課：公園緑地課）

(カ) 成果

- ・公園愛護運営会の情報交換会から SNS グループ（LINE オープンチャット）を立ち上げ、愛護運営会同士で年に1回の情報交換会だけでなく、日常的に組織運営や企画のノウハウを尋

ねたり、イベント等の情報共有をするための環境を構築できた。今後、SNS グループの運用等を通じて、各団体の運営状況を見に行ったり、相互に学びあう関係性づくりに注力していきたい

- ・昨年度までのワークショップを踏まえ、矢作公園周辺の町内会と公園愛護運営会設立に向けて調整を行ったが、地元老人会を基盤とした公園愛護会が立ち上がったこともあり、愛護運営会の設立は見送ることとなった。
- ・新規設立の相談や既存団体からの相談が特になかったため、公園愛護運営会の実態を把握すべく、自主的に3団体の活動の現場にアウトリーチを行い、組織体制や役割分担、他団体との連携状況、運営上の工夫や成果等を整理・分析した。

カー2 中山間地関係人口創出プロジェクト(下山学区)

(ア) 事業内容

下山学区の持続可能な地域づくりに向けて、①しもやま YAMABIKO 倶楽部（岡崎市下山学区地域づくり協議会から改組）の運営支援、②オクオカ活性化拠点下山（YAMABIKO、旧 JA 下山支店）活用検討支援を行った。

(イ) 実施時期 2025 年 4 月～2026 年 3 月

(ウ) 実施場所 下山学区

(エ) 従事者 天野

(オ) 協働先 しもやま YAMABIKO 倶楽部、ONE RIVER、岡崎市社会福祉協議会（ふくまど）

(カ) 自主事業 236,300 円（りた事業基金より繰り入れ）

(キ) 成果

しもやま YAMABIKO 倶楽部の運営支援を通じて、体験農園「となりの田んぼ」の実施（ONE RIVER が企画・実施を支援）、YAMABIKO 青空市・喫茶 YAMABIKO、YAMABIKO 食堂の実施、地域支え合い車両 YAMABIKO 号の運行、YAMABIKO 通信の発行などの活動の成果と課題を整理し、運営方法の見直し・改善を行い、各活動の自立的な体制は整ってきている。現在、市が JA から賃借している YAMABIKO の自立的な活用含め、農村型 RMO としての自立的な運営体制の確立が目下の課題となっている。

カー3 恵田学区地区別計画策定支援業務

(ア) 事業内容

恵田学区は、岡崎市北部に位置する中山間地域の一つであり、近年、人口減少・少子高齢化・公共交通の不在・遊休農地の増加など、多くの地域課題が顕在化している。こうした地域課題に地域が主体となって協働で持続可能な地域づくりを進めるために、岡崎市中山間地域活性化計画（オクオカイノベーションプラン）に基づき「地区別計画」の策定を支援する。同計画策定にあたり、住民アンケート調査、ワークショップの実施、かわら版の発行を行った。

(イ) 実施時期 2025 年 7 月～2026 年 3 月

(ウ) 実施場所 恵田学区

(エ) 従事者 天野、小早川

(オ) 協働先 久楽志隊（恵田学区地域活性化委員会）、乙川川守舎

(カ) 受託事業 3,091,000 円（岡崎市からの事業受託費より繰り入れ 担当課：中山間政策課）

(キ) 成果

恵田学区の地域資源と地域課題を把握するために、①地域リサーチ（人口動態調査、キーマンヒアリング、フィールドワーク）、②全住民アンケート（回答率 78.25%・714 件）を行った。そこから地域で検討する主要テーマとして、A.交流イベント、B.農用地保全、C.移住促進、D.小学校連携、E.困りごと解消、F.次世代の 6 つを設定し、③井戸端会議（住民ワークショップ、60 名参加）で具体的な対策や活動について意見交換を行った。

恵田学区はぶどう栽培が盛んで（駒立町）、後継世代への事業継承が進んでおり、継業者のみならず新規就農者も複数見られるなど、強い農業環境が強みである。一方で、新興団地「ライクタウン花園」の影響で、児童数の急激な増加と減少を経て、現在小学校の統廃合が危惧されている。恵田学区は、公共交通の空白地帯であり、ほぼ全域が市街化調整区域のため、店舗や飲食店がほとんどない。また住宅の新築や増築に制限があり、若年層の流出が顕著で、転出者の U ターンの障壁にもなっている。一方で、アンケートや井戸端会議から、U ターンや地域外からの転入ニーズがあることも判明した。

小規模特認校制度の恩恵もあり、児童数は辛うじて 40 人前後を保っているが、統廃合の対象となる基準値に近づいており、児童数の維持・確保が急務である。

以上より、恵田の豊かな農業環境や子育て環境を武器に、集落維持制度を活用して、U ターン・就農希望者・工業団地従業員の恵田学区への移住促進を柱の 1 つに据えた地区別計画を取りまとめた。今後、同計画を基に、優先度を考慮しながら緊急度の高い活動（リーディングプロジェクト）を起こし、持続可能な仕組みづくりを求められる。

カー4 安城地区公園再整備基本構想策定ワークショップ

(ア) 事業内容

安城市では、市内にある 4 つの地区公園（秋葉公園、柿田公園、堀内公園、川島河川敷公園）のリニューアルに向けた構想策定が進められている。この構想策定に向けて、専門家による委員会や市民アンケートなど様々な検討プロセスがあり、その一つが「市民ワークショップ」である。この構想策定業務全体を株式会社プレック研究所が受託し、市民ワークショップの部分で、りたが担当する。2025 年度までの 2 か年にわたり、全 4 回のワークショップを開催し、構想策定に向けて、市民意見を反映する。

(イ) 実施時期 2025 年 4 月～2026 年 3 月

(ウ) 実施場所 安城市役所ほか

(エ) 従事者 三矢、長谷川、斉藤

(オ) 受託事業 3,506,100 円（株式会社プレック研究所からの事業受託費より繰り入れ）

(カ) 成果

- ・全体 4 回のシリーズワークショップにおいて、昨年度までに 1 回が終了し「現状の公園の魅力と課題の可視化」を行った。今年度は、①WS の 2 回目から 4 回目までの実施、②フォーラムの開催支援、③公園構想策定に対する市民意見の反映、を行った。
- ・WS2 では、（個別の公園へのアイデアではなく）安城市の公園に求められるアクティビティや機能について意見交換を行った。市内外（国外を含む）優れた公園のあり方を抽出した。
- ・WS3 では、WS2 で得られた未来の公園アイデアを、4 つの地区公園との組み合わせを整理。

- ・WS4 では、それまでに出了れた市民意見が、必ずしもハード整備によって実現できるものばかりでもなかったことを踏まえ、行政に整備してほしい内容と、市民が主体的に起こす（やりたい）公園活動を取りまとめた。その後、フォーラムの開催、パブリックコメントが実施された後、公園の再整備構想策定に向けて、市民意見の反映を行った。

カー5 「三郷駅前周辺まちづくりデザイン意思決定支援業務」に関するコンサルティング

（ア）事業内容

尾張旭市は三郷駅前開発事業の推進に際し、愛知県立芸術大学とまちづくりに関する協定を締結した。愛知県立芸術大学はこれを受け、「愛知県立芸術大学受託事業三郷駅前周辺まちづくりデザイン意思決定支援業務（以下本事業）」により、地権者を含む三郷駅周辺市民らが駅前開発事業区域及びそれを核とした近隣のまちづくりの推進に貢献しようとしている。本事業はこれらを踏まえ、再開発基本計画への市民意見の反映と、駅周辺のエリアマネジメントの機運醸成や体制づくりを念頭に、各種のワークショップ、社会実験、フォーラムを開催した。

（イ）実施時期 2025 年 4 月～2026 年 3 月

（ウ）実施場所 尾張旭市役所ほか

（エ）従事者 三矢、長谷川、加納

（オ）受託事業 7,599,900 円 （愛知県公立大学法人からの事業受託費より繰り入れ）

（カ）成果

- ・三郷駅前再開発を起点として、駅周辺を魅力的なエリアとすること、そのエリアのマネジメントを推進できる市民コミュニティ（35 フレンド）の育みに力を入れた。再開発事業が 2030 年に完了することを見越して、エリアマネジメントの活動と組織づくりを進めた。エリアマネジメントの実現に向けては、①コンテンツの開発、②エリア内の具体的な土地、場所の使いこなし、が重要と考え、以下の活動を展開した。
- ・①については、これまで 5 年間の議論や活動の成果を踏まえ、市民一人一人のやりたいこと、好きなことを社会に開き、社会的なコンテンツにする方法として「マイパブリック、パーソナル屋台（田中元子氏提唱）」をヒントに、企画開発を進めた。
- ・②については、①で準備したパーソナル屋台の実践場として、これまでの議論を踏まえて 3 か所（森林公園内、駅前から森林公園の途中にある市営駐輪場（あまり利用がされていない）、駅前商業施設内の一角）を選定し、実証実験を行った。
- ・2026 年 5 月に再開発事業の解体事業が始まる。これを見越して、再開発によって見慣れたまちの風景が消失する前に、街を歩き、その思い出を共有し、未来につなぐための企画「まち納め感謝祭」を開催することとした。この感謝祭に向けたアイデア出し会議を実施した。

カー6 愛・地球博記念公園マネジメント会議運営補助業務

（ア）事業内容

愛・地球博記念公園マネジメント会議（NPO、企業、大学、行政など総勢 70 程度の会員が参加）の会議ファシリテーション支援を行なった。

（イ）実施時期 2025 年 5 月～2026 年 3 月

（ウ）実施場所 地球市民交流センターほか

（エ）従事者 三矢

(オ) 受託事業 495,000 円 (日本工営都市空間株式会社からの事業受託費より繰り入れ)

(カ) 成果

- ・前年度にまとめた活動方針に基づき、①パークマネジメント活動 QA 整理、②サトラボ周辺エリア活動 (ジブリパークとの共生)、③西ロエントランス活用活性化、を実施した。
- ・①は、現状活動をしている団体に向けたアプローチと、そもそも現状の活動が滞っている団体に向けた取り組みについて再整理することとなった。
- ・②は、個別のアクションを起こすにはいかなかった。ただし、ジブリパークとの境界部分の垣根を物理的に改変する提案 (ジブリ客をサトラボエリアの散策をしやすくする) が出され、今後の検討課題とした。その他、ピンバッチ交換会などの活動アイディアも出た。
- ・③は、各種のアイディアを整理し「みどりのマルシェ」構想が立ち上がった。2026 年度は「みどりのマルシェ分科会」など、マネジメント会議の公式活動として立ち上げ、近隣の高校や大学との連携を視野に活動を広げていく方針とした。

キ まち育てを支援する拠点施設の管理運営事業

キー1,2,3,4,5 岡崎市地域交流センター(北部・南部・西部・東部・六ツ美分館)指定管理事業

(ア) 事業内容

「市民活動を活性化させることにより市民相互の交流を促進し、活力に満ちた地域社会の実現に寄与する施設」である岡崎市地域交流センターを、指定管理者として管理運営を行った。市民活動の支援、市民サービスの拡充を目的として、貸館業務、市民活動の啓発や発展につながる研修や交流会、イベント、情報誌「まちのワ！」の発行や SNS などを通じて、市民活動や地域活動の情報の受発信を行った。

(イ) 実施場所 岡崎市北部地域交流センター・なごみん
岡崎市南部地域交流センター・よりなん
岡崎市西部地域交流センター・やはぎかん
岡崎市東部地域交流センター・むらさきかん
岡崎市地域交流センター六ツ美分館・悠紀の里

(ウ) 開館日時 火曜日～日曜日 (月曜定休が基本) 9:00～21:00

(エ) 従事者

統括管理責任者 平岩
事業運営責任者 深田
事業運営責任者補佐 小早川
施設保守管理責任者 高柳

【なごみん】 加藤智 (センター長)、田中 (副センター長)、
吉開、加藤和、藤本、今村、鈴木ひ、岩城、市川、神谷

【よりなん】 石田 (センター長)、近藤美 (センター長補佐)、
青山 (副センター長)、
永井、石本、板谷、星野、石野、鈴木麻、田邊

【やはぎかん】 深田（センター長）、岩川（センター長代行）、
安藤（副センター長）、
水澤、鈴木田、西村、大滝、土田、中西、野倉

【むらさきかん】 阪口（センター長）、浦野（副センター長）、
図師、亀山、久保田、久永、山本美、稲垣、三浦、鈴木孝

【悠紀の里】 鈴木紀（センター長）、磯貝（副センター長）、
吉岡、杉浦千、川田、手嶋、山本澄、堀井、山本勝

施設保守・修繕 岡田、鈴木二、清家

高度相談対応職員 天野、三矢 等 法人内外専門家チーム

拠点担当総務 藤岡、永谷、二宮、岩川、近藤直

（オ）受託事業 178,819,591 円

（岡崎市からの事業受託費他より繰り入れ他 担当課：市民協働推進課）

（カ）事業の実施概要・成果

① 利用者数

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	年目標
なごみん	8,493	6,583	5,567	7,861	9,999	6,556	6,576	6,043	6,482	6,408	7,022	7,308	84,898	74,000
よりなん	8,691	8,220	8,491	9,639	8,844	9,352	9,042	8,440	8,340	9,035	8,184	10,320	106,598	95,000
やはぎかん	7,451	9,647	7,325	8,528	7,632	7,324	8,702	11,293	8,334	7,154	7,985	8,017	99,392	92,000
むらさきかん	7,390	8,800	9,060	8,757	7,577	7,181	8,619	8,080	7,211	5,990	6,691	8,027	93,383	91,000
悠紀の里	7,255	8,042	9,827	9,934	7,924	7,359	8,897	7,587	7,228	6,385	7,027	7,501	94,966	78,000
合計	39,280	41,292	40,270	44,719	41,976	37,772	41,836	41,443	37,595	34,972	36,909	41,173	479,237	430,000

達成率： 111%

2024 年度と比較して約 30,000 人増加し目標数値を達成できた。増加の要因は交流スペースならびにプレイルームの利用者数の増加によるもので、居心地のいい適切な環境を提供できていることが数字につながっていると考えられる。

② ボランティアマッチング数

ボランティア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	年目標
なごみん	139	44	51	116	209	99	90	56	137	78	185	93	1,297	1,200
よりなん	239	122	437	127	349	193	126	28	24	14	50	35	1,744	1,600
やはぎかん	199	157	326	312	187	166	140	54	25	33	26	21	1,646	1,400
むらさきかん	72	91	28	356	27	17	123	33	95	17	8	65	932	900
悠紀の里	166	10	90	107	38	29	75	18	119	21	128	110	911	900
合計	815	424	932	1,018	810	504	554	189	400	163	397	324	6,530	6,000

達成率： 109%

まちびとバンクを活用し、施設ボランティア（ふれあいひろば事業）の募集を実施した。市民参加型の館内装飾プログラムでは、プレイルーム利用の親子や交流スペースの学生などが気軽に参加し、マッチング数の増加につながった。これにより窓口スタッフと来館者の接点が増え、関係構築の機会となっている。

また、提案事業で参加者に向けてまちびとバンクの周知を行ったことで、地域活動へのボランティア紹介にもつながり、年間目標 6,000 人という目標を上回る実績となった。

さらに、「まちびとステージ」として特技を活かす機会の創出に取り組み、年間 37 件の機会を求める依頼に対し、高齢者施設や子ども会、老人クラブ等への派遣を中心に、全センターで 124 件の

マッチングができた。これらの取組により、センター内外における活動機会の創出とボランティア活動の活性化につながっている。

③ 事業への参加・協力団体数

参加・協力団体	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			合計	年目標
センター名	協力	参加	出展	協力	参加	出展	協力	参加	出展	協力	参加	出展		
なごみん	0	0	48	8	3	7	1	22	0	0	18	7	114	50
よりなん	2	0	17	0	0	0	4	38	0	0	0	0	61	50
やはぎかん	7	9	3	0	5	17	1	6	7	0	0	0	55	50
むらさきかん	2	0	19	5	8	0	0	0	0	5	21	2	62	50
悠紀の里	0	11	0	0	13	0	3	12	34	0	0	0	73	50
合計	11	20	87	13	29	24	9	78	41	5	39	9	365	250

凡例：協力) 事業の企画段階から協力、協働関係をもって関わった場合
 参加) 事業当日に参加した場合
 出展) 事業当日にブースや発表などを行った場合

各センターが開催する事業において、市民活動団体や事業者等に関わってもらう目標数値として設定した年間 50 という数値を大きく達成することができた。特になごみんの周年事業では 48 団体がイベントと一緒に盛り上げてくれ、周年イベントが多く主体と関わりを持てる機会であることを再認識した。むらさきかんの「防災フェーズフリーってナニ？」では企画内容への関心が高く満席となり、防災関係団体に加え地縁組織に属する参加者が加わり、数字を伸ばすことができた。

④ アウトリーチ

アウトリーチ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	年目標
なごみん	2	5	8	3	3	1	2	1	1	8	1	2	37	24
よりなん	0	2	8	5	0	0	0	2	3	1	3	0	24	24
やはぎかん	6	3	5	1	5	0	0	1	1	1	1	0	24	24
むらさきかん	5	8	1	3	0	1	6	2	3	1	1	0	31	24
悠紀の里	8	2	0	7	1	1	2	3	3	1	1	3	32	24
合計	21	20	22	19	9	3	10	9	11	12	7	5	148	120

達成率： 123%

地域内の事業者や学校、NPO 等に、ニーズ調査や交流センターの活用促進 PR、事業での協力体制の模索等のヒアリングを行い、年目標を達成した。アウトリーチにより、有益な情報収集ができた（活動状況や課題意識、支援のニーズ等）：88 件、センターPR ができた：62 件、センター事業への参画につながった：64 件、他団体を紹介またはマッチングできた：8 件という成果が得られた。情報を分析し、今後のマッチングや実施事業・支援策の構築へ活用していく。

⑤ 市民活動に関する研修及び交流事業の企画立案

(1) 市民活動の支援や推進に係る研修

事業名	実施場所	実施日	内容・成果
市民活動サポート研修 「ひとりじゃない社会をつくる支援のヒント」講座	なごみん	11/15	受講者 22 人(22 団体)、講師1人他 ひきこもり、障がい、子育て、介護などのテーマで活動する団体を中心に、講義とグループワークを行った。課題の共有や地域での孤立を防ぐ協働の方法を学び合うことで、団体運営と地域づくり双方に役立つ視点を獲得する場を提供できた。
市民活動サポート研修 「情報ひろば活用講座」	よりなん	12/9	受講者 17 人(10 団体)、講師 2 人、ボランティア1人他 「おかざき市民活動情報ひろば」サイトを活用し、団体活動の周知拡大と活性化を目的とした講座を実施した。事前に個別サポートや資料収集を行い、当日は活用団体の事例発表とともに、ログイン方法や写真投稿手順を解説し、理解促進と活用意欲の向上を図った。
市民活動サポート研修 「団体広報のために写真や動画を極めよう①」	やはぎかん	5/24	受講者 11 人(9 団体)、ボランティア 2 人、講師1人他 初心者向けに、広報に活かす写真撮影をテーマとした研修を、座学と実践を交えて実施した。団体の活性化や他団体との連携促進、さらには新たな層への情報発信につなげることを目的に、広報に有効な写真技術を学ぶ講座として構成。撮影の基礎的なポイントを習得した上で、協力団体の活動風景を実際に撮影する実践も行った。
市民活動サポート研修 「団体広報のために写真や動画を極めよう②」	やはぎかん	9/20	受講者 8 人(5 団体)、ボランティア 2 人、講師1人他 団体の活動活性化や協働促進、既存のターゲット以外への周知を図るため、動画活用による発信力を実践的に学ぶ講座を実施。協働促進や新たな層への周知が期待され、参加者から追加開催希望の声が寄せられるなど高評価を得た。
市民活動サポート研修 「受援力のススメ～受援力をミカタに活動をアップデートしよう！～」	むらさきかん	8/23	受講者 18 人(8 団体)、講師 5 名他 市民活動の活性化を目的に、ボランティアを受け入れる「受援力」を学ぶ研修を実施。活動を通じて、つながりを生み出すための配慮や、自団体における受け入れの工夫点、実践に役立つ具体的なヒントを得る機会となった。
市民活動サポート研修 「IT 利活用研修①」	悠紀の里	6/28	受講者 20 人(11 団体) 「AI 編」として、広報の基本を学びたい団体を対象に実施。AI の仕組みや活用のポイントを学び、生成 AI を使って団体紹介文や参加募集の文章を実際に作成した。参加者の理解度に応じた丁寧な説明と成果物を得た達成感が好評を得た。

市民活動サポート研修 「IT 利活用研修②」	悠紀の里	7/26	受講者 25 人(13 団体)他 デザイン初心者でも簡単に操作できる「Canva」の基本操作や活用事例を学ぶ研修を実施。実践演習によって目を引くチラシができ、団体の情報発信力を高め、認知度向上や参加促進につながった。
---------------------------	------	------	---

(2) 市民活動団体の連携の推進及び強化につながる交流事業

事業名	実施場所	開催日	内容・成果
『地域資源再発見！』 まちづくり講座	なごみん	2/14	来場者 35 人(18 団体)、出展者 10 人(20 団体)他 地域の魅力と課題を共有することを目的に、まちの魅力を出し合うワークショップを開催した。地域団体や住民が参加し、歴史・史跡、防災、子育ての視点から地域資源や課題を出し合い、地域マップに落とし込んだ。多様な主体が交流しながら地域情報を共有することで、地域資源の再発見と可視化が進み、今後の地域づくりへつながる基盤が形成された。
みんなとつながるコラボフェス	よりなん	5/31	来場者 79 人、出展団体 46 人(17 団体)、ボランティア 1 人 市民活動団体と地縁団体・事業者との協働を促進するための交流イベントを開催。第 1 部では、団体が活動内容やつながりたい相手を紹介し、一般参加者との交流を通じて関心を高めた。第 2 部では、出展団体同士が名刺やチラシなどを交換し、情報共有やマッチングにつながる関係づくりを図った。
まちから学ぼう！市民活動×夏の宿題ヒントフェス	やはぎかん	7/19	来場者 100 人、出展団体 48 人(17 団体)、ボランティア 3 人他 自由研究をテーマに、団体活動の担い手発掘や活動 PR を目的に、小学生を対象とした地域課題や歴史、環境などに興味を持つきっかけ作りの場をつくり、市民活動を広げる機会を提供した。実行委員会を立ち上げ、団体同士の交流・連携の機会も提供できた。
防災フェーズフリーってナニ？	むらさきかん	1/24	来場者 29 人、出演者 7 人(2 団体)、講師 4 人他 防災課による講義、事例紹介及びグループワークを通じて、日常活動を災害時に活かす視点を共有した。地域と団体など 6 件のマッチングが生まれ、団体間連携の具体的な動きも生まれた。アンケートでは満足度 93%以上、今後に役立つ 96%と高評価を得ており、地域全体の防災力向上に向けた協働の基盤形成につながった。
ゆきファミリーパーク	悠紀の里	10/19	一般来場者 710 人、出展者 98 人(20 団体)、ボランティア 15 人(うち出店者兼 14 人)他 子育て支援団体や大学と協働し、子育て世代向けの体験企画や作品展示、福祉施設による販売ブースを集めたイベントを開催した。団体間の連携強化を目的に事前交流会や共同制作日を設け、来場者には団体紹介冊子を配布し、活動 PR を図った。

⑥ 地域と連携した市民活動の活性化に寄与する事業

事業名	実施場所	実施日	実績・内容
聾学校×地域 協働創出事業	なごみん	7/31	来場者 46 人(3 団体)、ボランティア 16 人他 市民活動団体「ビランチャヨガ」及び岡崎聾学校と協働し、ヨガ体験と共に手話や筆談を用いた多様な交流の場を提供した。参加希望者が多く席を増やすほどの反響があり、聾学校生との真剣な対話が印象的だった。岡崎東高校 JRC 部も加わり、世代や背景を超えた交流の機会となった。
こどものまち「なごみん横丁」	なごみん	8/5.6.7	来場者 731 人、ボランティア 177 人他 働く体験や出店体験、納税に加え、議会機能やアクセシビリティ対応を通じて、まちの仕組みを学ぶ機会を提供した。参加した子どもたちが主体的に関わり、他者と協働しながら活動する場となった。運営は、学生ボランティアや市民団体、企業と連携。当イベントを卒業した中学生がボランティアで支える側として引き続き参加してくれるケースも増えてきた。
まちの生きがいつくり活動「まちカツ！」	よりなん	10/8～12/13	参加者 83 人(28 団体)他 地域住民の経験やスキルを地域で活かすことで関係づくりを促進し、助け合いや協力しやすい環境を整えるための「まちカツ！」を開催。スタッフによる伴走支援できめ細やかなサポートを行うことで 23 講座の開催に至った。センターPR とともに活動意欲の向上や新たな取組につながられた。
上地学区親子秋祭り連携事業	よりなん	11/16	来場者 370 人、ボランティア 1 人他 上地学区 9 団体とともに、秋祭りを通して学区民に地域交流センターの役割や活動を周知する機会となった。クイズや工作を通して楽しく伝える場となり、学区 9 団体との信頼関係構築にもつながる機会となった。
花のとう支援事業	やはぎかん	5/11	来場者 690 人、出展者 19 人（3 団体）、ボランティア 11 人 「花のとう」紹介ブースでは伝統文化や地域資源を紹介し、防災トイレ体験や市民団体の展示もあわせて実施。展示では来館者の関心が高まり、防災啓発や地域課題に関するアンケートも行った。これをきっかけに OK フードバンクや他イベントとの連携が進み、地域防災や協働の新たな展開につながった。

防災交流会	やはぎか ん	11/23	来場者 36 人(6 団体)、講師 7 人他 より充実した防災訓練の開催を目的に、矢作 4 学区に よる防災訓練、岩津防災キャンプ、他自治体の防災訓 練事例を紹介。それらの事例を踏まえ、各テーブルで 「自学区の訓練に活かすには？」をテーマに意見交換 を行うことで、自助・共助の意識を高め、交流と連携を 図ることができた。
歴史街道を歩いてみよう！ 「むらさき麦まつり」～市民 活動博覧会	むらさきか ん	5/17	来場者 1,441 人(まち歩き 17 人含む)、出展者 38 人 (21 団体)、ボランティア 8 人他 まち歩きを通じて地域の歴史や文化に触れ、藤川宿へ の愛着や市民活動への関心を高める機会を創出し た。まち歩きでは、館内でのバーチャルまち歩き後に 実際の現場を見たことが好評を得た。館内では 21 団 体が出展し、活動の体験や展示、バザーを実施し市民 活動の啓発を行った。
むつみ地域交流会	悠紀の里	12/5	来場者 42 人(12 団体)、出展者 28 人(14 団体)他 2 つの地域包括支援センターと協働し、六ツ美 4 学区 の地域活性化や連携強化を目的に「地域イベントの企 画」をテーマにした交流会を開催した。市民活動団体 や企業が活動紹介ブースを設け、マッチングの機会を 提供するとともに、学区相互に今後の活動について情 報共有することができ、実際の活動に役立てる兆しが 見られた。

⑦ 周年記念事業

事業名	実施場所	実施日	内容・成果
開館 20 周年記念事業	なごみん	4/27	参加者数：一般来場者 1,102 人、出展者 178 人(48 団体)、ボランティア 25 人 開館 20 周年を記念し、地域住民や利用者にあため てセンターの役割を知ってもらうためのイベントを開催 した。活動団体による体験・展示・販売ブースを設け、 市民に活動を PR したことで今後の活動への関心につ ながった。日頃から関わる団体や初参加の団体、来場 者、ボランティアが一体となって創り上げた催しとなっ た。

(キ) 自主事業

① 移動販売車・ブース出展の誘致

概要：駐車場での移動販売車営業及び館内フリースペースでのブース販売を行う事業者等を募り、指定したスペースでの販売活動を認めた。令和6年度の試験導入を経て、令和7年度から正式に実施を開始した。

対象施設：よりなん、やはぎかん、むらさきかん、悠紀の里

販売品目：軽食、弁当、飲み物、デザート及び物販（飲食物は保健所の許可品目に該当する物）

出店料等：登録料1,000円／年、出店料1,000円／回（売上が1,000円に満たない場合は、その日の出店料を免除）

結果：出店登録者数は13件。4月から3月にかけての出店数は下記表のとおり。なお、法人としての売上の合計額は、219,000円となった。

出店場所	移動販売車出店数	館内ブース出店数
よりなん	34	27
やはぎかん	78	24
むらさきかん	23	2
悠紀の里	13	8
合計	148	61

	最小値	最大値	平均値
客数	1人	62人	20人
売上	0円	49,300円	13,765円

施設利用者に加え、近隣住民が購入のために足を運んでいる姿をよく見るようになり、目的の一つに掲げている「買い物に困る近隣住民の利便性向上」の一助になっている。

客数や売上については、販売品目や値段設定で差が出ている。出店者に対して、持続可能な出店につなげられるよう傾向の共有などを行っていくことが必要である。

② 窓口での消耗品販売

概要：利用者のセンター利便性向上の観点から、センター窓口で消耗品を販売した。

結果：販売促進活動として目につく場所に掲示を増やしたことで認知度が上がり、昨年に比べてスポンジや水切りネット、マスクの販売数が増加した。販売実績は下表のとおり。

販売品目	販売価格 (税込み)	北部	南部	西部	東部	六ツ美	合計	
紙おむつ（M・L）	300円	1	1	0	0	0	2袋	600円
キッチンペーパー	300円	0	2	0	0	0	2袋	600円
スポンジ	100円	—	5	4	3	0	12個	1,200円
水切りネット	10円	—	9	20	38	15	82枚	820円
マスク（大人用）	50円	3	12	4	3	0	22枚	1,100円

3 法人運営に関する事項

(1)総会

ア 第20回通常総会

- (ア) 開催日時及び場所 2025年6月27日(金) 10:00～11:00
岡崎市民会館 会議棟2階 大会議室
- (イ) 議題＜審議事項＞ ①2024年度 事業報告書(案) 及び決算書(案) について
②2025年度 役員の変更及び役員の選任(案) について
③2025年度 事業計画(案) 及び事業予算(案) について
④役員報酬支給(案) について

(2)理事会

ア 第1回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2025年6月3日(火) 10:30～11:30
岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 会議室302
- (イ) 議題＜審議事項＞ ①2024年度 事業報告書(案) 及び決算書(案) について
②2025年度 役員の変更及び役員の選任(案) について
③2025年度 事業計画(案) 及び事業予算(案) について
④役員報酬支給(案) について
⑤職員の夏季賞与(案) について
⑥事業基金の活用(案) について

イ 第2回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2025年8月26日(火) 10:30～11:30
岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 会議室101
- (イ) 議題＜報告事項＞ ①事業進捗報告 (2025年4～6月)
＜審議事項＞ ①拠点運営パートタイム労働者の賃金改定(案) について

ウ 第3回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2025年11月25日(火) 10:30～11:45
岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 会議室302
- (イ) 議題＜報告事項＞ ①事業進捗報告 (2025年7～9月分) について
②2025年度上半期決算(4～9月期) について
③賃金規程(役職手当) の一部改正について
④育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
＜審議事項＞ ①常勤職員の冬季賞与(案) について
②パートタイム労働者への生活支援一時金の給付(案) について

エ 第4回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2026年2月27日(金) 10:30～12:00
岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 会議室302
- (イ) 議題＜報告事項＞ ①事業進捗報告(2025年10～12月分) について
②賃金規程(通勤手当) の一部改正について

- <審議事項> ①常勤職員の昇給(案) について
②パートタイム労働者就業規則（雇用上限期日等）の改正（案）について
③2026 年度 4 ～ 6 月 暫定活動予算書(案) について
④2025 年度における事業計画（案）

活動計算書

令和7 年 4 月 1 日 ～ 令和8 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目		金 額		備 考
Ⅰ 経常収益				
1. 受取会費				
正会員受取会費	238,000			13団体、個人24名
賛助会員受取会費	77,000	315,000		4団体、個人7名
2. 受取寄附金				
受取寄附金	942,150	942,150		日本NPOセンター ソフト導入支援
3. 受取助成金等				
受取助成金	1,000,000	1,000,000		愛知県中小企業男性育児休業取得促進奨励金
4. 事業収益				
1) まち育て推進事業収益				
学習機会事業	0			
調査研究事業	2,554,000			地域包括ケアシステム支援・路地街区再生PJ・企画開発
対話協働事業	16,892,000			中山間地関係人口創出PJ・公園愛護運営常設立支援・公園マネジメント会議運営 三郷駅前PJ・安城市公園再整備基本構想WS・恵田学区地区別計画検討
2) 市民活動支援事業収益				
相談助言事業	10,700,663			りぶら市民活動センター運営
拠点運営事業	179,042,694			岡崎市地域交流センター（東・西・南・北・六ッ美分館）指定管理
3) その他事業収益				
情報発信事業	0			
専門家派遣事業	4,240,170	213,429,527		竹田住宅跡地活用検討WS・岡崎の水と森の座談会・空き家等流促進相談 他
5. その他収益				
受取利息	174,046			岡信・ろうきん・JAあいち 普通預金 利息
雑収益	817,204	991,250		駐車場賃料従業員負担分・ポイント
経常収益計			216,677,927	
Ⅱ 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給料手当	114,219,290			
法定福利費	9,295,493			
人件費計	123,514,783			
(2) その他経費				
仕入	180,001			
外注費	47,050,148			
旅費交通費	912,788			
通信費	377,971			
消耗品費	3,582,953			
接待交際費	76,582			
会議費	33,120			
賃借料	2,681,123			
支払手数料	455,867			
保険料	195,692			
新聞図書費	654,000			
修繕費	64,994			
租税公課	13,421,070			
研修費	214,000			
広告宣伝費	326,762			
雑費	149,840			
その他経費計	70,376,911			
事業費計		193,891,694		
2. 管理費				
(1) 人件費				
役員報酬	4,140,000			
給料手当	8,524,231			
法定福利費	2,177,686			
福利厚生費	2,697,393			
人件費計	17,539,310			
(2) その他経費				
外注費	76,850			
旅費交通費	84,750			
通信費	419,243			
消耗品費	1,505,191			
水道光熱費	161,347			
接待交際費	39,320			
会議費	9,600			
賃借料	2,004,000			
支払手数料	221,011			
諸会費	68,300			
保険料	537,148			
支払報酬	1,521,300			
新聞図書費	35,231			
租税公課	61,588			
減価償却費	85,472			
広告宣伝費	51,120			
費用弁償	256,000			
雑費	252,765			
その他経費計	7,390,236			
管理費計		24,929,546		
経常費用計			218,821,240	
当期経常増減額			△ 2,143,313	
Ⅲ 経常外収益				
1. 過年度損益修正益		0		
経常外収益計			0	
Ⅳ 経常外費用				
1. 過年度損益修正損			0	
経常外費用計			0	
税引前当期正味財産増減額			△ 2,143,313	
法人税、住民税及び事業税			71,000	
当期正味財産増減額			△ 2,214,313	
前期繰越正味財産額			66,523,281	
次期繰越正味財産額			64,308,968	

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。(取得価額が30万円未満である減価償却資産は、一定の要件のもとに一部損金処理しています。)
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	学習機会事業	調査研究事業	対話協働事業	相談助言事業	拠点運営事業	情報発信事業	専門家派遣事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益										
1. 受取会費								0	315,000	315,000
2. 受取寄附金								0	942,150	942,150
3. 受取助成金等								0	1,000,000	1,000,000
4. 事業収益		2,554,000	16,892,000	10,700,663	179,042,694		4,240,170	213,429,527		213,429,527
5. その他収益					217			217	991,033	991,250
6. 事業費振替収入								0	21,681,363	21,681,363
7. 管理費振替支出		△ 745,001	△ 3,774,492	△ 2,133,825	△ 14,777,212		△ 250,833	△ 21,681,363		△ 21,681,363
経常収益計	0	1,808,999	13,117,508	8,566,838	164,265,699	0	3,989,337	191,748,381	24,929,546	216,677,927
II 経常費用										
(1) 人件費										
役員報酬								0	4,140,000	4,140,000
給料手当		2,329,772	3,751,486	6,840,665	98,729,557		2,567,810	114,219,290	8,524,231	122,743,521
法定福利費		346,931	377,762	426,579	7,786,316		357,905	9,295,493	2,177,686	11,473,179
福利厚生費								0	2,697,393	2,697,393
人件費計	0	2,676,703	4,129,248	7,267,244	106,515,873	0	2,925,715	123,514,783	17,539,310	141,054,093
(2) その他経費										
仕入					180,001			180,001		180,001
外注費		1,236,400	8,255,500		36,891,048		667,200	47,050,148	76,850	47,126,998
旅費交通費		65,678	113,770	30,500	636,760		66,080	912,788	84,750	997,538
通信費		600		220	377,151			377,971	419,243	797,214
消耗品費		34,030	33,384	44,583	3,460,396		10,560	3,582,953	1,505,191	5,088,144
水道光熱費								0	161,347	161,347
接待交際費		14,650			58,932		3,000	76,582	39,320	115,902
会議費			920		32,200			33,120	9,600	42,720
賃借料		780		295,200	2,372,978		12,165	2,681,123	2,004,000	4,685,123
支払手数料				18,480	437,140		247	455,867	221,011	676,878
諸会費								0	68,300	68,300
保険料					195,692			195,692	537,148	732,840
支払報酬								0	1,521,300	1,521,300
新聞図書費					654,000			654,000	35,231	689,231
修繕費					64,994			64,994		64,994
租税公課		740	728,218	857,406	11,536,501		298,205	13,421,070	61,588	13,482,658
減価償却費								0	85,472	85,472
研修費		201,000			13,000			214,000		214,000
広告宣伝費				760	326,002			326,762	51,120	377,882
費用弁償								0	256,000	256,000
雑費					149,840			149,840	252,765	402,605
その他経費計	0	1,553,878	9,131,792	1,247,149	57,386,635	0	1,057,457	70,376,911	7,390,236	77,767,147
経常費用計	0	4,230,581	13,261,040	8,514,393	163,902,508	0	3,983,172	193,891,694	24,929,546	218,821,240
当期経常増減額	0	△ 2,421,582	△ 143,532	52,445	363,191	0	6,165	△ 2,143,313	0	△ 2,143,313

3. 活動原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

2025年度 ボランティア利益換算

算定方法:単価は愛知県の当該年度最低賃金¥1140

区 分	事 業 名	ボランティア		利益換算 (小計)
		延べ人数	延べ時間	
北 部	市民活動サポート研修 社会課題解決講座	0	0.0	0
	「地域資源再発見！」まちづくり講座	0	0.0	0
	なごみん横丁	177	885.0	1,008,900
	聾学校×地域 協働創出事業	14	28.0	31,920
	ふれあいひろば	1,013	560.0	638,400
	情報誌「まちのワ！」発行业業	0	0.0	0
	市民活動団体情報発信事業	0	0.0	0
	開館20周年記念事業 なごみんフェスタ2025	91	364.0	414,960
	小 計	1,295	1,837.0	2,094,180
南 部	市民活動サポート研修 情報ひろば活用講座	1	2.8	3,135
	みんなとつながるコラボフェス	1	2.5	2,850
	まちの生きがいづくり活動「まちカツ！」	0	0.0	0
	上地学区親子秋まつり連携事業	1	2.0	2,280
	ふれあいひろば	1,736	1,017.0	1,159,380
	情報誌「まちのワ！」発行业業	0	0.0	0
	市民活動団体情報発信事業	0	0.0	0
	小 計	1,739	1,024.3	1,167,645
西 部	市民活動サポート研修 団体の広報のために写真や動画を極めよう！	6	4.5	5,130
	市民活動×夏休み自由研究プロジェクト	11	13.0	14,820
	花のとう支援事業	11	13.5	15,390
	防災交流会	0	0.0	0
	ふれあいひろば	1,529	765.0	872,100
	情報誌「まちのワ！」発行业業	4	4.0	4,560
	市民活動団体情報発信事業	0	0.0	0
	小 計	1,561	800.0	912,000
東 部	市民活動サポート研修 受援力のススめ	3	3.0	3,420
	防災フェーズフリーってナニ？	0	0.0	0
	歴史街道を歩いてみよう！「むらさき麦まつり」～市民活動博覧会～	67	45.5	51,870
	ふれあいひろば	862	431.0	491,340
	情報誌「まちのワ！」発行业業	0	0.0	0
	市民活動団体情報発信事業	0	0.0	0
	小 計	932	479.5	546,630
六ツ美	市民活動サポート研修 IT利活用研修	0	0.0	0
	ゆきファミリーパーク	36	102.0	116,280
	むつみ地域交流会	0	0.0	0
	ふれあいひろば	875	358.0	408,120
	情報誌「まちのワ！」発行业業	0	0.0	0
	市民活動団体情報発信事業	0	0.0	0
	小 計	911	460.0	524,400
市 活	まちびとバンクシステム	0	0.0	0
	情報発信事業	0	0.0	0
	情報誌「まちのワ！」発行业業	0	0.0	0
	小 計	0	0.0	0
まちT	公園愛護運営会設立支援	0	0.0	0
	地域包括ケア支援	0	0.0	0
	空き家相談・調査業務	0	0.0	0
	恵田地区別計画策定支援業務	0	0.0	0
	未来へつむぐ岡崎の水と森の座談会運営補助業務	0	0.0	0
	HC財団地域交流会in岡崎	0	0.0	0
	路地街区再生プロジェクト	6	6.0	6,840
	中山間地関係人口創出プロジェクト	0	0.0	0
	モリコロ	0	0.0	0
	三郷駅前プロジェクト	0	0.0	0
	安城公園WS	0	0.0	0
	小 計	6	6.0	6,840
合 計		6,444	4,606.8	5,251,695

※2019年度より「ボランティアコスト換算」から「ボランティア利益換算」に名称変更

※2022年度より「運営ボランティア」の呼称を「ボランティア」に変更

※2022年度より日常業務に関わるボランティアは、施設ボランティアとして「ふれあいひろば」に含む

4. 使途等が制約された寄付金等の内訳
使途等が制約された寄付金等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は64,308,968円ですが、そのうち1,761,407円は、下記のように使途が特定されています。したがって使途が制約されていない正味財産は62,547,561円です。

(単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
基金事業	2,001,110	0	239,703	1,761,407	事業のための基金
合 計	2,001,110	0	239,703	1,761,407	

5. 固定資産の増減内訳
固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具	1,067,643	0	0	1,067,643	△ 1,067,642	1
什器備品	917,220	0	0	917,220	△ 917,217	3
一括償却資産	0	117,222	0	117,222	△ 39,074	78,148
合 計	1,984,863	117,222	0	2,102,085	△ 2,023,933	78,152

6. 事業費と管理費の按分方法
各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給与・賞与及び法定福利費については従事割合に基づき按分しています。

貸借対照表

令和8年3月31日現在

特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた

単位:円

科目・摘要	金額		
I資産の部			
1流動資産			
現金預金	75,013,930		
事業基金用預金	1,761,407		
商品	136,608		
貯蔵品	43,518		
未収金	10,286,440		
前払金	476,462		
仮払金	6,600		
流動資産合計		87,724,965	
2固定資産			
車両運搬具	1		
什器備品	3		
一括償却資産	78,148		
長期前払金	8,400		
保証金	346,000		
固定資産合計		432,552	
資産合計			88,157,517
II負債の部			
1流動負債			
未払金	19,753,581		
前受金	14,000		
預り金	183,268		
未払消費税	3,826,700		
未払法人税等	71,000		
流動負債合計		23,848,549	
負債合計			23,848,549
III正味財産の部			
前期繰越正味財産		66,523,281	
当期正味財産増減額		△ 2,214,313	
正味財産合計			64,308,968
負債及び正味財産合計			88,157,517

注1) 固定資産に関する減価償却計算の方法は、以下のとおり

1. 建物定額法
2. 建物附属設備定額法
3. 車両運搬具定率法
4. 什器備品定率法

財産目録

令和8年3月31日現在

特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた

単位:円

科目・摘要		金額		
I資産の部				
1流動資産				
現金預金				
現金	現金手許有高	393,738		
普通預金	岡崎信用金庫本店	74,473,710		
普通預金	岡崎信用金庫岩津支店	39,188		
普通預金	岡崎信用金庫上地支店	8,679		
普通預金	岡崎信用金庫矢作支店	18,204		
普通預金	岡崎信用金庫美合支店	19,122		
普通預金	岡崎信用金庫中島支店	15,222		
普通預金	東海労働金庫岡崎支店	9,662		
普通貯金	あいち三河農業協同組合竜城支店	36,405		
普通預金	岡崎信用金庫本店（事業基金用）	1,761,407		
商品				
	コピー用紙・パウチフィルム・水切りネット・おむつ他	136,608		
貯蔵品				
	コピー用紙	43,518		
未収金				
	恵田学区地区別計画策定支援業務	3,091,000		
	公園愛護運営会設立支援業務	2,200,000		
	三郷駅前周辺まちづくりデザイン検討支援業務	1,818,410		
	未来へとつむぐ岡崎の水と森の座談会開催補助業務	1,012,000		
	地域包括ケアシステム支援業務	850,000		
	空き家等流通・活用促進プラットフォーム相談業務	715,000		
	マンホールカード配布委託業務	341,000		
	専門家派遣視察対応1件	55,000		
	雇用保険料等従業員負担金	123,058		
	各センター・カフェ売上、物品販売、作業室、コピー機使用料	38,270		
	自動販売機手数料収入	42,302		
	収入印紙過誤納還付金	400		
前払金				
	警備保守料 令和8年4月以降分	209,880		
	事務局家賃 令和8年4月分	100,000		
	営繕車両任意保険 令和8年4月以降分	49,576		
	駐車場地代 令和8年4月分	36,500		
	法務顧問・顧問料 令和8年4月分	27,700		
	電子証明書手数料 令和8年4月以降分	5,823		
	普通傷害・NPO賠償保険料 令和8年4月以降分	31,383		
	レンタルコンテナ 令和8年4月分	11,250		
	会議会場代 令和8年4月以降分	4,350		
仮払金				
	設備管理委託料過払分	6,600		
流動資産合計			87,724,965	
2固定資産				
車両運搬具				
	営繕用軽車両1台	1		
什器備品				
	事務局パソコン1台	1		
	事務局ファイヤーウォール	1		
	事務局オンラインセキュリティ機器	1		
一括償却資産				
	事務局カメラ1台	78,148		
長期前払金				
	営繕用車両リサイクル預託金	8,400		
保証金				
	事務局	300,000		
	駐車場	46,000		
固定資産合計			432,552	
資産合計				88,157,517
II負債の部				
1流動負債				
未払金				
	職員3月分給与	9,363,383		
	設備管理・事業業務委託料	5,343,182		
	各受託事業チラシ・パンフレット等製作費、委託外注費	3,806,081		
	備品・事務用品購入、備品リース料、印刷代	402,345		
	法人負担3月分社会保険料	660,989		
	電話料金3月分	57,453		
	出張・会議交通費等未精算分	78,637		
	税理士報酬3月分	27,500		
	電気代3月分	14,011		
前受金				
	第21期キッチンカー出店登録料	14,000		
預り金				
	住民税	172,300		
	源泉所得税	4,720		
	共済会職員給付金	2,000		
	令和7年度修繕費返納金	4,248		
未払消費税				
	第20期分消費税 確定申告分	3,826,700		
未払法人税等				
	第20期分法人県民税均等割	21,000		
	第20期分法人市民税均等割	50,000		
流動負債合計			23,848,549	
負債合計				23,848,549
正味財産				64,308,968